

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ土浦支援教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援を行うにあたって、内容と人数に合わせて十分な環境設備と設定を確保している。	・運動カリキュラムを行う際には、机とイスを端に寄せて広々と身体を動かせる場所を確保しており、また工作に関しては子ども同士の作品や教えあいのコミュニケーションを行えるように向かい合わせたりと、状況に応じて環境設定を行っている。	・ケガやトラブル防止の為、机の角やコンセント類等に壁作り、バリアフリーの充実度を高める。安全と快適な空間作りを心掛け、有意義な空間を作っていく。
2	・専門性のあるカリキュラム (運動、ダンス、絵画、パソコン)	・専門の講師を呼び、より専門知識を高めていけるよう支援を行っている。また、その子の特性や苦手なものの伸ばしたい分野を職員で話し合い、講師の先生と共同しながら支援内容を提供している。	・教室内だけでなく、外部で行っている体験型のイベントに積極的に参加をして外部からの刺激を増やしていく。他分野での交流から視野や活動の幅を増やし、就労に繋げていける機会を提供していく。
3	・児童だけでなく保護者参加型のイベントや座談会などの情報交換できる研修を行っている。	・現に行っているのが、親子体操や親子イベントをおこなっており、その中に外部の講師をお呼びして講演会を行い情報交換や集まれる場を提供している。	・年内で定期的に行っている面談だけでなく、保護者をお呼びして、座談会を行い共感や不満の解消できる場を定期的なイベントとして行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	・行政との関りは強いが、自治体が行うイベントや祭りに参加する機会が少なかったため、自治体との関りが少なかった。	・徐々にではあるが、自治体が主催している祭りに参加をしてきている状況ではあるので、事業所でイベントなどを行い、自治体関係の期間を招いていきながら、情報交換出来る活動を行っていく。
2	・栽培や収穫カリキュラムの少なさ。	・過去には行っていたが、環境や場所の問題で確保が難しくなった。	・規模は小さくなるが、プランター栽培から初めていき地域の方との連携をとれるよう動き、畑など規模を大きくしたカリキュラムに繋げていく。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの期待感や安心感の低下。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々への関わり方やその子のニーズに合ったカリキュラムやイベントがなく、楽しいと思う聞き出しが少なくなっている。 ・学年差が激しい事からの、レベルの違いがつけられずマンネリ化してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全て子ども達のニーズに応えることは難しいが、曜日を変えたり、ピックアップをしたうえで埋め込んでいく。 ・子どもたちから自宅に今日の様子を持ち帰ってもらえるよう支援の中に好きな遊びや運動を取り入れて、保護者に伝える機会を作っていく。 ・送迎の際に内容と様子を保護者に伝え不安が不満にならないよう情報共有の質を高めていく。
---	--	---	--